

のり海況速報 第2報 (24-2)

平成24年10月12日発行
 千葉県水産総合研究センター
 東京湾漁業研究所
 千葉県農林水産技術会議

資料 のり海況調査 10/9：内湾(わかふさ)、10/2：内房北部(ふさみ丸)
 関東・東海海況速報(10/1-11)、東京湾口海況図(10/1-11)
 拓南観測データ(10/11)

【水温・塩分の状況】

内湾の表層水温(図1)は先月末頃から急激に低下し、全域で21℃台まで下がっています。塩分は30~32台で、千葉県側では平年より高めになっています。また、縦断面の水温・塩分の鉛直分布(図2)をみると、水温は表層から底層までほぼ一様に分布していますが、塩分はまだ成層状態を示しています。

一方、今月初め東京湾口への沖合水の流入によって、23~25℃台に上昇した内房北部の表層水温も22℃前後に低下しています。

黒潮の接岸傾向は依然継続していますが、いまのところ小康状態になっていますので、この影響は少ない模様です。

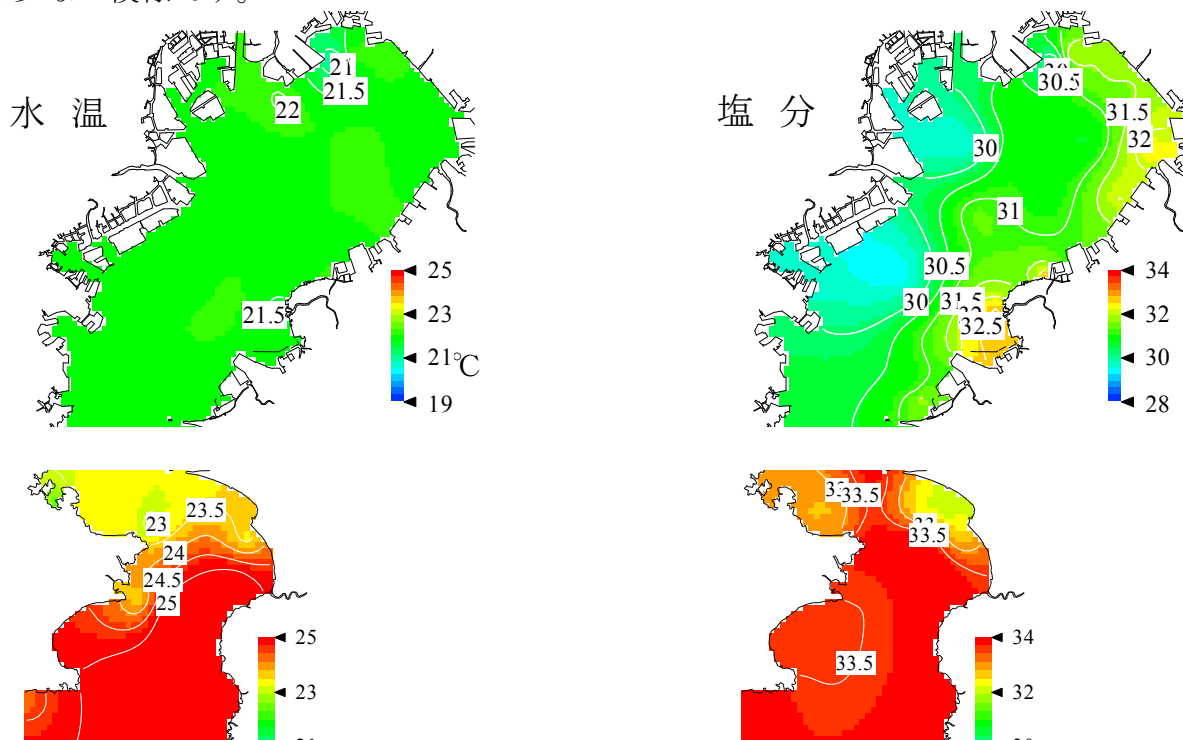


図1 表層の水温・塩分の鉛直分布(平成24年10月2, 9日)
 (上：内湾(10/9)、下：内房北部(10/2))

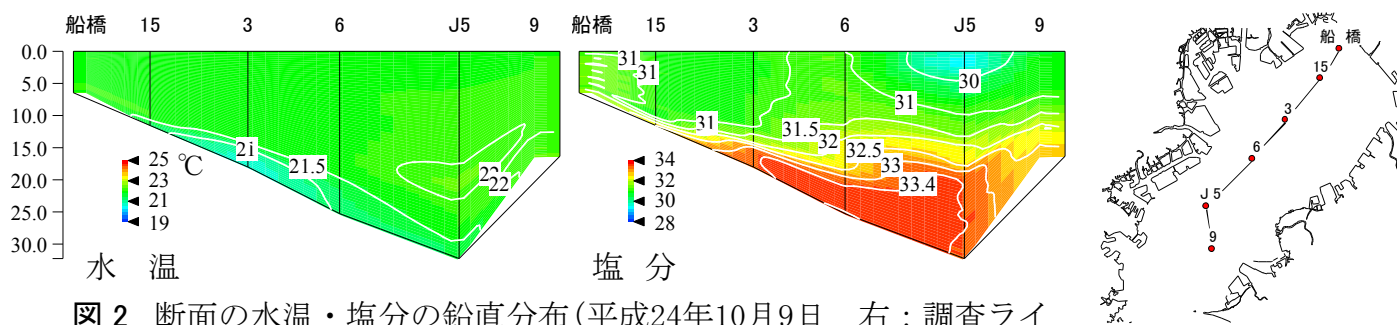


図2 断面の水温・塩分の鉛直分布(平成24年10月9日 右：調査ライ)

【赤潮・栄養塩の状況】

赤潮は全域で発生していません。しかし、内湾ではスケルトネマやシュードニッチアなどの小型ケイ藻が多くみられています。北部海域では透明度が2m台まで低下し、水色もやや褐色を帯びているところがみられます。

内湾の表層の栄養塩(図3)は窒素(DIN)・リン(DIP)とも十分あります。今月初め、少なめであった内房北部のノリ漁場周辺の栄養塩も回復し、のり養殖にとって問題ない量となっています。

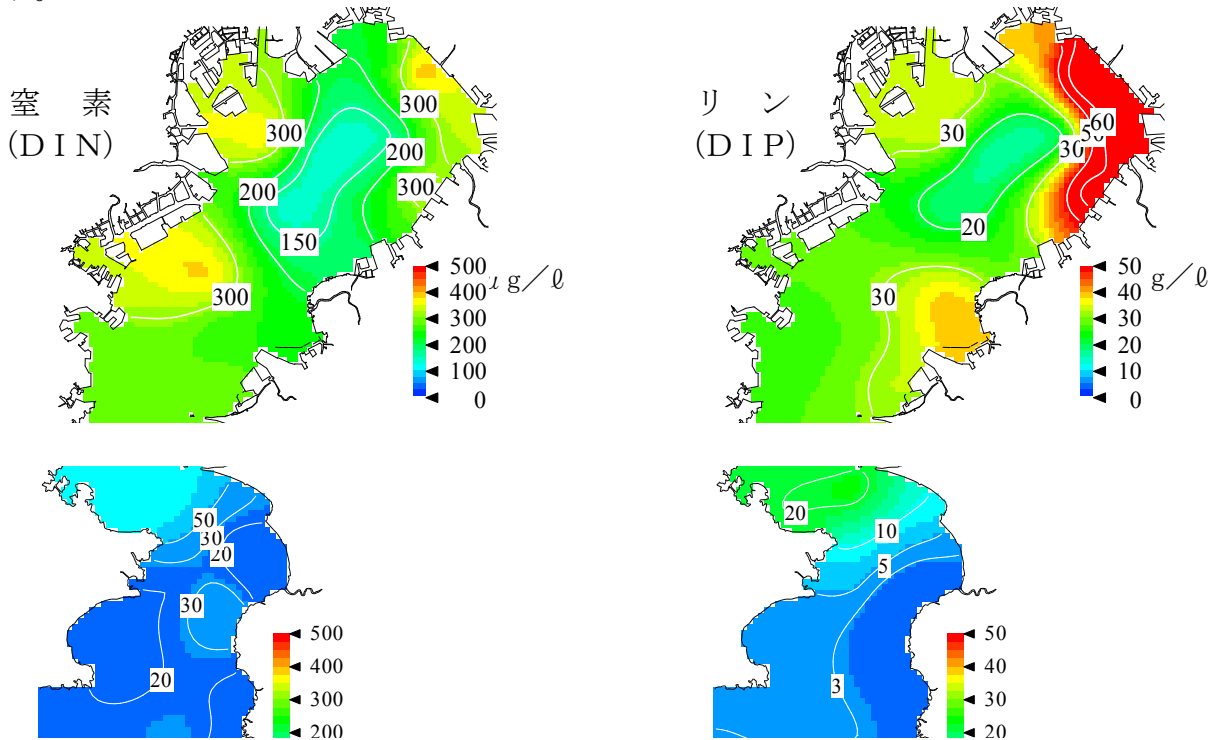


図3 表層の栄養塩濃度の分布(平成24年10月2,9日)
(上:内湾(10/9)、下:内房北部(10/2))

ノリ養殖場水温予報のお知らせ

今年も、各ノリ養殖場(三番瀬, 盤洲北部, 盤洲南部, 富津岬北, 富津岬南)について、5日先まで表層水温を予報しています。パソコンまたは携帯の検索サイトで”ノリ養殖場水温予報”で検索するか、下記アドレスを直接入力してご覧ください。

パソコン: http://www.pref.chiba.lg.jp/pbcbisuishi/cbtk/04tk-yohou/main_frame.html

携帯 : http://www.pref.chiba.lg.jp/pbcbisuishi/cbtk/04tk-yohou/mobile_forecast.html